

# 学部・研究科等の現況調査表

## 教 育

平成22年6月

国立大学法人  
東京工業大学

## 目 次

9. イノベーションマネジメント研究科	9-1
---------------------	-----

## 9. イノベーションマネジメント 研究科

II	分析項目ごとの水準の判断	9 - 2
	分析項目 V 進路・就職の状況	9 - 2



は一定期間が必要と考えられるためである。)今回、平成 19 年度に修了した 6 名について、入学時点と修了後 2 年を経過した時点のポストを調査した。調査結果から、昇任や重点業務の追加など、修了後の職務において技術経営 (MOT) に関連する分野で活躍しており、イノベーション専攻で身に付けた能力が勤務先において高く評価されていることが伺える (資料 5-2)。また、継続的に技術経営専攻に社員を派遣している企業の人事担当者にアンケートを行ったところ、技術経営専攻の教育は期待以上であり、修了生は幅広い領域で活躍をしているとの回答を得た (資料 5-3)。

(資料 5-2: イノベーション専攻修了生の所属企業からの評価) 出典: 研究科作成資料

A 氏	入学時	某大学イノベーションマネジメント研究科准教授 (経営学の教育研究に従事)
	現時点	某大学イノベーションマネジメント研究科教授 (経営学・MOT の教育研究に従事)
B 氏	入学時	バングラディッシュ出身留学生
	現時点	英国 Cardiff 大学 Research Associate (Innovative Manufacturing Research Centre において研究に従事)
C 氏	入学時	メーカー IT 戦略企画部主査 (医薬部門の IT 全般の企画に従事)
	現時点	メーカー情報システム部インフラ企画統括マネジャー (企業グループ全体に関する IT インフラの企画統括管理に従事)
D 氏	入学時	メーカー子会社情報セキュリティ研究所室長 (研究に従事)
	現時点	メーカー本社 R & D 戦略推進センター技術情報分析部主幹研究員, C T O 補佐 (社内外技術経営動向分析および戦略策定統括に従事)
E 氏	入学時	メーカー研究企画部部長補佐 (技術渉外, 技術動向調査に従事)
	現時点	メーカー人材開発部主幹 (社内における MOT 研修の企画・指導に従事)
F 氏	入学時	国際特許事務所副所長 (特許出願・権利化業務, 調査)
	現時点	国際特許事務所副所長 (特許出願・権利化業務, 調査, コンサルティング)

(資料 5-3: 技術経営専攻修了生の企業からの評価) 出典: 研究科作成資料

質問 1: 技術経営専攻の教育についてお聞かせください。	
①期待以上である ②期待通りである ③期待していたほどではない	
回答	①期待以上である
理由	担当者から中堅になるくらいの社員を派遣しているが、ゆくゆくは当社の技術部門でマネジメントを担うことを期待している社員であり、そのために必要な広い視野を培うことができている。今まで業務を通じて経験を積み、技術、技能の習得に努めてきた社員だが、それをより大きなバースペクティブの中で振り返ることで、今後のキャリアを切り開く良い機会となっている。
質問 2 修了生の活動状況についてお聞かせください。	
①活躍している ②今後の活躍を期待している ③修了後間もないため評価できない	
回答	①活躍している
理由	終了後、2 年程度、本社技術企画部で当社の技術開発全体を統括する仕事に従事するケースが通例だが、その後は、現場のマネジメント、本社内他部門など幅広い領域で力を発揮している。

## (2) 分析項目の水準及びその判断理由

(水準) 期待される水準にある

(判断理由)

本研究科は、技術経営専攻及びイノベーション専攻修了生から「学業の成果」や「社会からの評価」について高い評価を受けており、現在所属している企業からの評価も高い。また、平成 20 年度、21 年度の両専攻の新卒就職希望者 38 名は、100% の就職率となっており製造業界や金融業界などで希望通りの就職ができている。

さらに、平成 20 年度、21 年度の技術経営専攻の進学希望者のうち 4 名はイノベーション専攻に進学をしている。

以上から、期待される水準にあると判断される。